



CONTENTS

- * メンター制度ご案内
- * カモミール月曆
- * 緊急事態宣言下の研究者の状況
- * 研究倫理研修お知らせ（アピ楠）
- * 研究倫理研修報告（岐阜女子大学）

メンター制度ご案内

岐阜大学が取り組むメンター制度とは

日本における女性研究者比率は依然として低い状況にあります。本事業では、研究者を志す女子学生や女性研究者が生活、学業、進路選択、キャリア形成などの悩みを抱えた際に、同様の経験を乗り越えてきた先輩研究者（メンター）に相談する機会を提供することを通じて、女性研究者の育成および研究者としてのキャリア形成を支援する制度です。

★ご相談の初回は男女共同参画推進室の担当教員が対応します。相談内容に応じてより専門分野の近いメンターに引き継ぐこともできます。相談内容は【秘密厳守】です。どうぞご安心ください。

ご利用方法

1. 男女共同参画推進室（カモミール・カフェ）に利用をお申込みください。
- ↓
2. カモミール・カフェにて、担当教員がメンター制度の説明および相談内容をお聞きます。
- ↓
3. 相談内容から担当教員がメンターを選定・紹介し、相談日程を調整の上、ご連絡します。相談場所はカモミール・カフェとなります。
- ↓
4. 当日、カモミール・カフェにてメンターと面談をおこないます。

- 1回の面談は30分から1時間程度です。
- 個別面談の他、グループ面談も受け付けます。
- 2回目以降はメンターと相談の上、面談の日程と場所を決めていただきます。
- E-mail, 電話での相談については情報の管理方法や相談可能時間についてメンターとよくご相談ください。
- 悩みが深く体調不良が生じている場合や、セクハラ・アカハラ相談等、別途の対応が必要な場合には、学内外の適切な相談窓口をご案内します。
- 秘密は厳守されます。

利用お申し込み：男女共同参画推進室 内線：3397 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

カモミール月曆（室長からのメッセージ）

副学長（多様性・人権・図書館担当） 林 正子

「岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター」紹介

OKB ふれあい会館 第2棟9階にある「岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター」（以下、「支援センター」）については、これまでも何度かご紹介する機会がありました。今年度、新型コロナウイルス感染拡大によって私たちの日常生活が大きな影響を受けていることから、改めて、岐阜県健康福祉部子ども・女性局が運営している「支援センター」の充実した活動をご案内し、当該の情報や支援を必要としていらっしゃる方々への橋渡しとなりますよう願っています。

「支援センター」は、1994年度に「女性サロン」として開設、2006年度より「男女共同参画プラザ」と改称し、電話相談や面接相談をおこなってきました。2012年度に岐阜県直営として専門面接相談や男性専門相談が開設され、県民のニーズが高い相談業務が拡充されました。2016年4月施行の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）を受け、同年11月に「女性の活躍支援センター・男女共同参画プラザ」としてリニューアルオープン、2019年度より現在の「岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター」の名称が用いられています。

「支援センター」の主な業務内容は次のとおりです。

◆男女共同参画◆

- ・相談業務
電話相談（一般・男性専門・LGBT専門） 面接相談（法律・こころ）
- ・普及啓発活動
男女共同参画フォーラム、男女共同参画講座、イクメン・家事メン養成講座、理工系分野で活躍するロールモデルとの交流会
- ・男女共同参画推進サポーターの活動支援
- ・セミナー室等の貸館、図書等の貸し出し

◆女性の活躍支援◆

- ・子育て支援拠点での就労・子育て相談
- ・離職中・育休中の女性の多様なニーズに応じた講座や交流会
- ・再就職をめざす女性の支援のための企業見学会、合同企業説明会
- ・イクボス養成講座・学習会、企業等内研修
- ・初歩から段階的に学べる起業講座

2016年11月に「女性の活躍支援センター・男女共同参画プラザ」が設置されて以降、身近でその取り組みを見届けてきた者としては、支援センターの強みは「伴走型サポート」にあるという印象・実感を抱いています。岐阜県民の子育て不安の解消や再就職への挑戦、育休復帰の準備や就労継続、キャリアアップのための細やかな支援等々、相談者のニーズや希望に応じた方法やペースでのサポートがおこなわれていることが特徴的です。

また、電話相談（058-278-0858）【秘密厳守・相談料無料】の2019年実績は1,557件。男女を問わず、県民の生き方にかかわる身近な問題や悩みを、スタッフが丁寧に聞き取り、相談者自身の気持ちの整理がついた段階で、必要に応じて各種相談センター等の支援機関につなぐ役割を担っています。

男性専門電話相談では、配偶者や家庭の問題、介護と仕事の両立などについての男性の悩みについて、また、LGBT専門電話相談は、性的指向や性自認等によって困難な状況に置かれている人々や支援者らを対象として、それぞれ専門相談員が対応しています。

支援センターの多岐にわたる業務内容や行事・催事については、お役立ち情報満載のホームページで https://gifujio.pref.gifu.lg.jp/support_center/ どうぞご確認ください。

支援センターの重要な事業のひとつである「理工系分野で活躍するロールモデルとの交流事業」には、岐阜大学男女共同参画推進室の取り組み「サイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）」で活躍してくれた女子大学院生（現・名古屋大学大学院博士課程）を派遣するなど、さまざまなかたちで支援センターとの連携を深めています。

構成員の皆さんにも、「岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター」の充実した取り組みを知っていただき、必要に応じてご活用いただければ幸いです。

緊急事態宣言下の研究者の状況

落合絵美（男女共同参画推進室 特任助教）

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の感染拡大を受けて、3月以降、小中高校や特別支援学校のほか幼稚園・保育園や介護施設、さらには大学においても閉鎖や利用自粛が広がり、日本中で「ステイホーム」が呼びかけられました。その結果、とりわけ小学生以下の子どもを育てる保護者が出勤できなくなったり在宅勤務しながら子どもの世話をすることの難しさ等が社会問題として共有されるようになりました。

このような状況のなかで、研究者はどのように過ごしていたのでしょうか？男女共同参画学協会連絡会（110学協会が加盟）が2020年7月に発表した「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査結果」（回答者数11,112名）によれば、緊急事態宣言後、回答者の約8割が研究生活に不安を感じており、とくに「実験や調査の内容・質」に対する不安が大きいことを指摘しました。また、回答者の55.5%が「教育に費やす時間が増えた」（「減った」は22.7%）ものの、「学生とのコミュニケーション」や「教育の内容・質」に不安を抱える実態が明らかになりました。

さらに、「現状における勤務上の支障」について尋ねる設問では、男女ともに「国内外の出張ができない」ことを指摘する割合（男性62.5%、女性54.3%）が最も高かった一方で、育児の増加（男性16.6%、女性25.5%）や「家事負担の増加」（男性18.6%、女性30.4%）については他の項目に比べて男女差が大きくなっており、女性研究者のほうが男性研究者に比べて家事・育児負担と勤務との両立困難に直面している傾向が見られました。

男女共同参画推進室では、育児・介護等と研究との両立に困難を抱える研究者に対して研究補助員を配置する「研究補助員配置制度」を運用しており、乳幼児を育てる女性研究者を中心に毎年多くの研究者が本制度を活用しています。岐阜大学に所属する研究者が育児・介護中でも安心して研究活動に取り組みキャリアを構築することができるように今後も支援事業を進めていきます。

「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査結果報告」
男女共同参画学協会連絡会（2020）

https://www.direnrakukai.org/doc.pdf/2020/survey_covid-19/index.html
(2020/10/08アクセス)





文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

研究倫理研修お知らせ

オンライン研修（アピ株式会社）

申込み受付
10/19まで

求められる研究倫理 ～ 医学系研究の視点から ～

講師：塚田 敬義 氏

岐阜大学大学院医学系研究科 医学系倫理・社会医学分野 教授

日時：2020年10月22日（木）13:30～14:30

対象：アピ株式会社・岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学の
全構成員



参加お申込み：岐阜大学男女共同参画推進室 内線：3397 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

研究倫理研修ご報告

9月10日、岐阜女子大学において研究倫理研修が開催されました。講師の小林雅典 岐阜大学学術研究・産学官連携推進本部特任教授（リサーチアドミニストレーター）が「コンプライアンスはつまらない!？」と題して、約1時間にわたって講演しました。

冒頭に「コンプライアンス」の用語について説明したあと、実施方法および定められた手順を遵守することの重要性について、ご自身も関わった経験のある医薬品の承認申請を事例に具体的に説明しました。

続いて、大学生が街頭で行った心理学に関する実験（「謝礼」と記載した封筒を道路に置いておき、封筒に気付いた通行人の反応を観察する）について紹介し、この実験が研究倫理上の観点からいかなる問題を抱えているのかについて概説しました。

後半では、「動物との関わり（生命倫理）」の観点から、動物実験を行ううえでの基本的な考え方やルール、食物資源や愛玩としての動物の存在、そして人間と動物との種の違いなどについて生命倫理の観点から考えました。



岐阜大学男女共同参画推進室（管理部人事務課（男女共同参画推進事務局）） URL：https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3397 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。